

研究計画書

ゼミ名	石田ゼミⅡ	チーム名	チーム ISAO
タイトル	新規公開株の価格分析と評価について		
テーマ群	b) 財政・金融		
メンバー	豊住圭佑、酒井貴大、若林誠、野添慈瑛、西尾建紀、山本峻斗、筒井修也、竹内健太、中津和輝		
研究計画内容	<p>新規公開株は新規に市場へ株式を公開することによって、企業の資金調達が容易になり、社会的信用の向上、人材確保の容易化など、新規公開には様々な利点がある。2014 年では初値が公開価格を上回る企業が約 8 割を占め、平均で 2 倍弱の初値が付いています。年間新規公開件数は 5 年連続で増加し、2014 年には 90 件に達した。「新規公開件数を増加させている背景にはどのようなものがあるか？そしてどのような企業が上場しているのか？」ということに興味を持ち新規公開株について調べることにしました。</p> <p>4 年連続で IPO 市場に参入する企業も増加している。新規公開株には投資家にとってメリットが多いのですが、デメリットも多くあります。株式公開企業が資金を集めるためにデータを改竄したりして IPO 市場は一時信用を失ったこともありました。たとえば、2006 年のライブドアショックなどで、新興市場での、投資家離れが起こっていったりして投資に慎重になる投資家が増えさらに IPO を目指して準備をしていた企業も上場を見合わせたりと IPO 市場も低迷した時期がありました。しかしこのような現状では新しい企業が上場してこない問題について、そして新規公開株の初値が証券会社などで設定されておりその価格設定が正しいかということ興味を持ち分析しようと思いました。</p> <p>このようなことを日経ファイナンシャルクエストや日経テレコンなどのツールを用い公募価格、上場後の市場株価、財務諸表の客観的企業の価値のデータから分析していき「なぜこの価格設定になったのか？」ということ調べていき、「投資が日本経済にどのような影響をあたえているのだろうか？」を研究していきます。</p>		